広島大学大学院統合生命科学研究科 博士論文発表会

試験管内インフラマソーム再構成系による難治性疾患の病態解明と創薬への応用

Applications of reconstituted inflammasomes in a cell-free system to drug discovery and elucidation of the pathogenesis of related disease

発表者：金子 直恵（愛媛大学医学部 解析病理学講座）

日　時　2026年 12月 9日（水） 14:00 ～ 15:00（オンライン開催）

場　所　https://teams.microsoft.com/meet/412833785771794?p=bQY5LUBskRepG33R5L

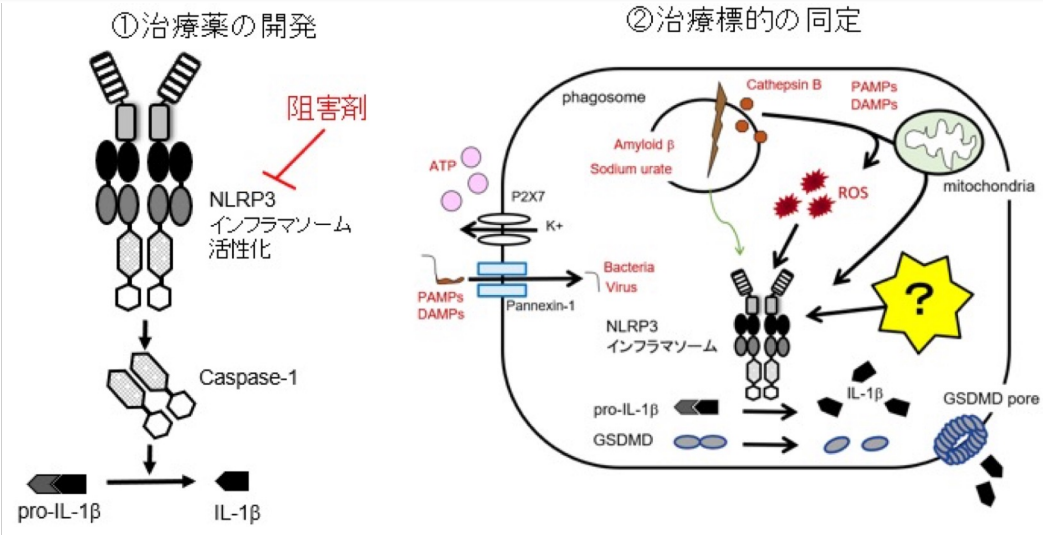
【研究背景】

【疾患との関わり】 自然免疫応答に関与する細胞内タンパク質複合体「インフラマソーム」のうちとくにNLRP3インフラマソームは、アルツハイマー病・糖尿病・痛風・動脈硬化症など多様な疾患に関与する。また、CIAS1遺伝子の機能獲得型変異は自己炎症疾患CAPSを引き起こす。

【既存治療と研究の課題】 CAPS治療にはIL-1β阻害剤（生物学的製剤）が臨床応用されているが極めて高価であり副作用の懸念も残る。また、NLRP3インフラマソームの詳細な活性化・制御の分子メカニズムは、未だ十分に解明されていない。

【本研究の目的】試験管内再構成系を用いた2つのアプローチによる難治性疾患の課題解決

① 新たな治療薬の開発（阻害剤の探索）　② 分子メカニズムの解明による新たな治療標的の同定



※本セミナーは，統合生命科学研究科セミナーとして，プログラム共同セミナーの対象です。

お問合せ先　統合生命科学研究科　免疫生物学研究室　堀内 浩幸（内線: 7970）
E-mail: hhori@hiroshima-u.ac.jp